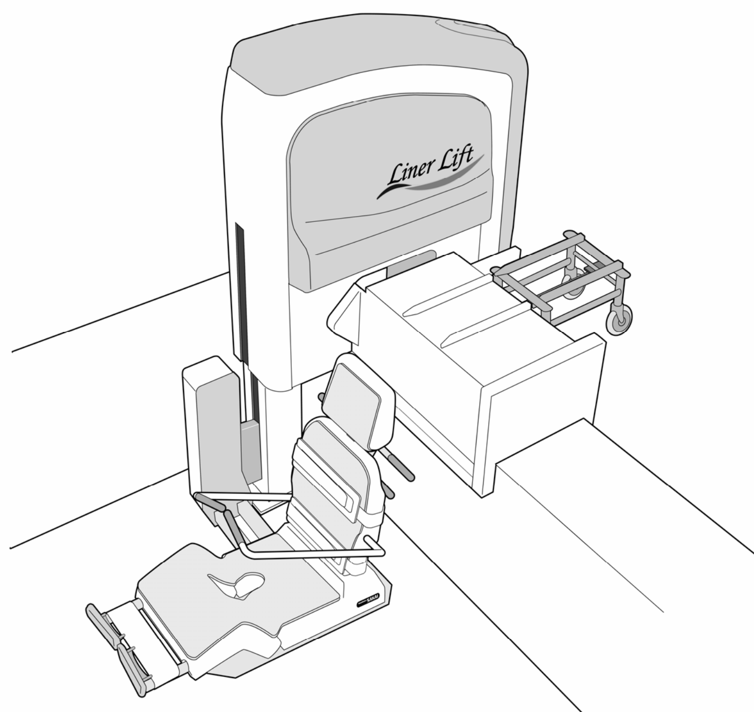
取扱説明書 保存用

Liner Lift

ライナーリフト
フロントアプローチタイプ

ＬＬ－３１０Ｒ／Ｌ



　このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
　正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい所に大切に保管してください。

Rehabilitation SAKAI

01-126⑦G3

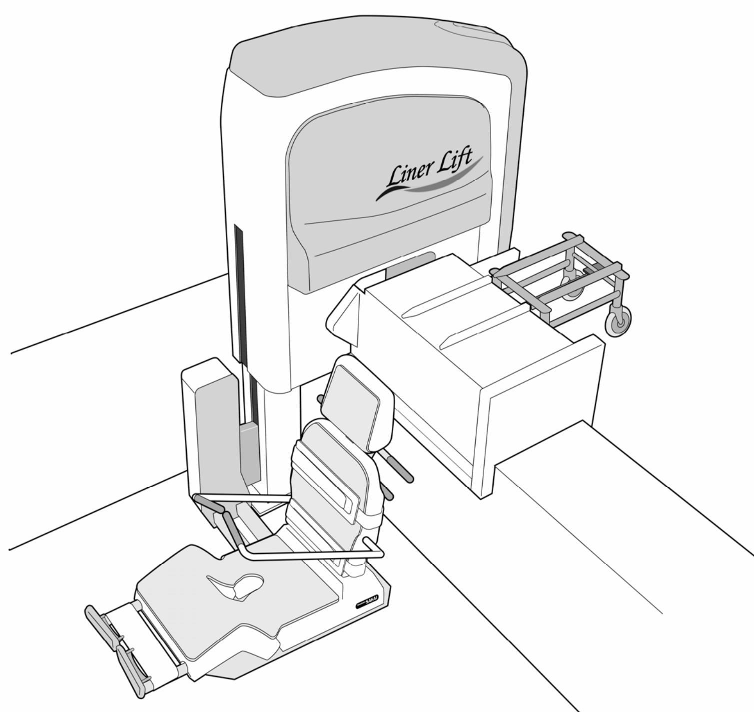
≪現場用≫

取扱説明書

Liner Lift

ライナーリフト
フロントアプローチタイプ

ＬＬ－３１０Ｒ／Ｌ



　このたびは、お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
　正しく安全にお使いいただくため、ご使用前にこの「取扱説明書」をよくお読みください。「取扱説明書」はいつでも使用できるように、見やすい所に大切に保管してください。

Rehabilitation SAKAI

01-126⑦G3

安全上のご注意

本製品を安全に正しくご使用していただくために、
各注意事項を読んで必ずお守りください。

表示の意味は次のようになっています。

⚠ 危険 ･･･ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負うことに至るもの

⚠ 警告 ･･･ 取り扱いを誤ると、
死亡または重傷を負う可能性が想定されるもの

⚠ 注意 ･･･ 取り扱いを誤ると、
傷害または物的損害の発生が想定されるもの

下記の注意事項は、本文からの抜粋です。

⚠ 警告

1．車椅子上の入浴者に安全ベルト及び手すりを使用しないで洗浄・入浴及び移動作業をすると、入浴者が落下し、けがをする恐れがあり危険です。

2．入浴スイッチを押す前に、浴槽内の湯温が適温であることを必ず手で確認してください。

3．入浴時の入浴者の状態については常に観察し、水没等が発生しないように注意してください。

4．入浴・出浴動作中、思わぬ所での挟み込みが発生しないように入浴者の足や手の状態を常に観察してください。危険を感じたらすぐに停止スイッチを押してください。

5．入浴動作中に、残った椅子下部を移動させないでください。

6．スライド台が洗い場側への水平移動を完了するまで絶対に椅子上部を引かないでください。動作途中で椅子を引きますと、スライド台に入浴者の足を挟む場合があり危険です。

7．次の操作に移る前に、各部のロックが確実にされていることを確認してください。

⚠ 注意

1．リフトを動かす際は、浴槽内のリフト動作範囲内に別の入浴者がいないこと、また障害物がないことを必ず確認してください。

2．入浴者の手，肘，足先，膝が、椅子の幅より出ていると､駆動部に当たるなどしてけがの原因になりますので注意してください。

3．車椅子とリフトの固定、椅子上部と下部の分離・合体の各操作は、勢いをつけずゆっくりとしたスピードで操作してください。

4．操作スイッチ等電気部品には、水をかけないでください。

5．ご使用後は浴室の換気を十分に行い、湿度を下げてください。

目　次

１．用途及び特長

● 用途

本製品は、座位姿勢の可能な方で、介護を必要とされている方に、車椅子に着座したまま安全で心地良く快適に入浴していただくことを目的とした装置です。

● 特長

リフトのフレームが片側にしかないため、介助者にとっては横からの介助が大変しやすく、入浴者にとっては介助者がそばにいるので安心して入浴ができるリフトです。

本製品は、浴槽の端の壁と縁に接近させて設置でき、かつ不使用時におけるリフト本体の浴槽縁からの張り出し量を少なくしています。また、浴槽内には柱しか設置しませんので、浴室及び浴槽スペースを有効に利用することができます。

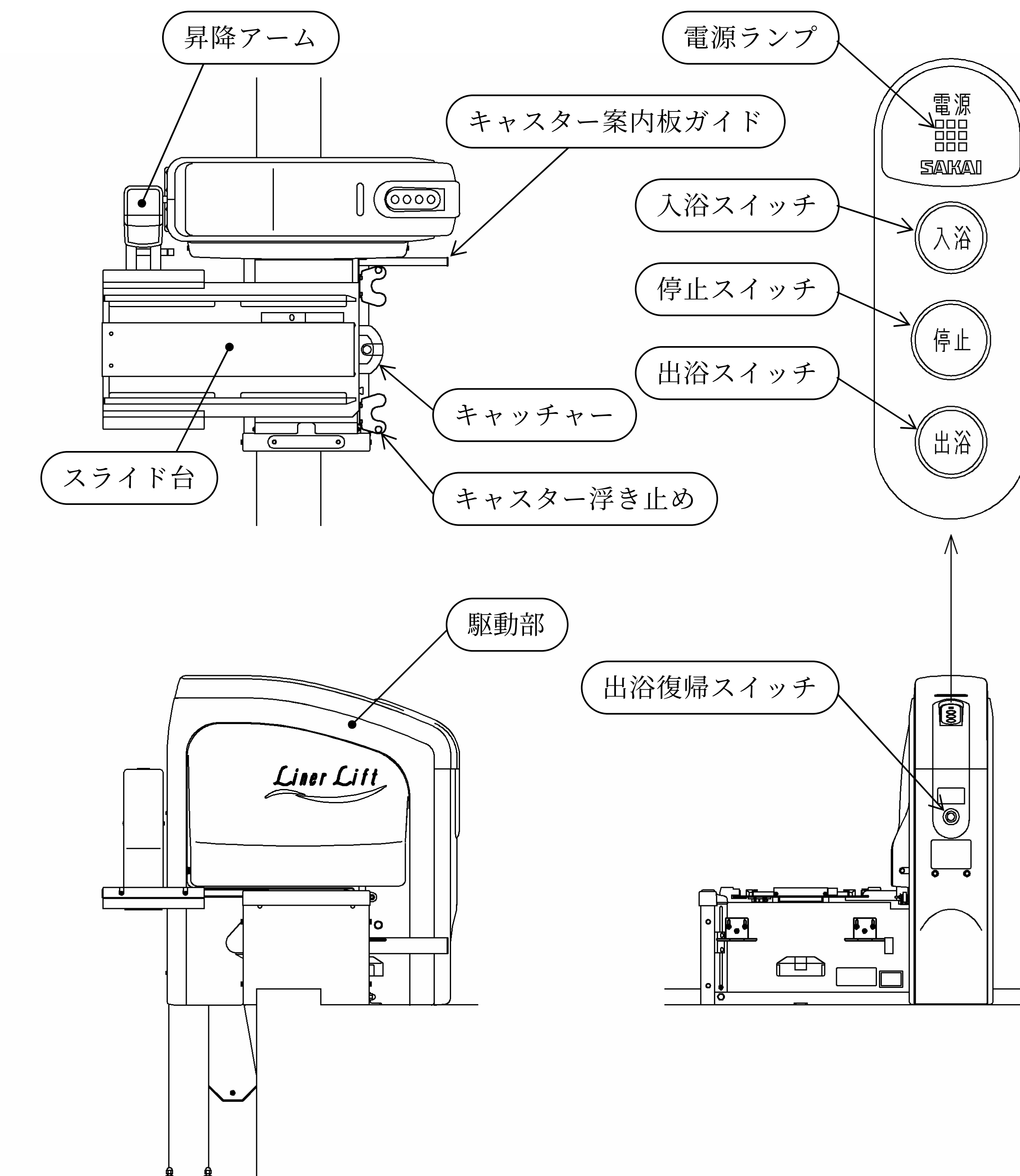
入浴者に安心感を与えるフロントバーや、介助者が常に入浴者のそばに居られるようにするためのリモコンスイッチが、オプション設定されています。

２．構成

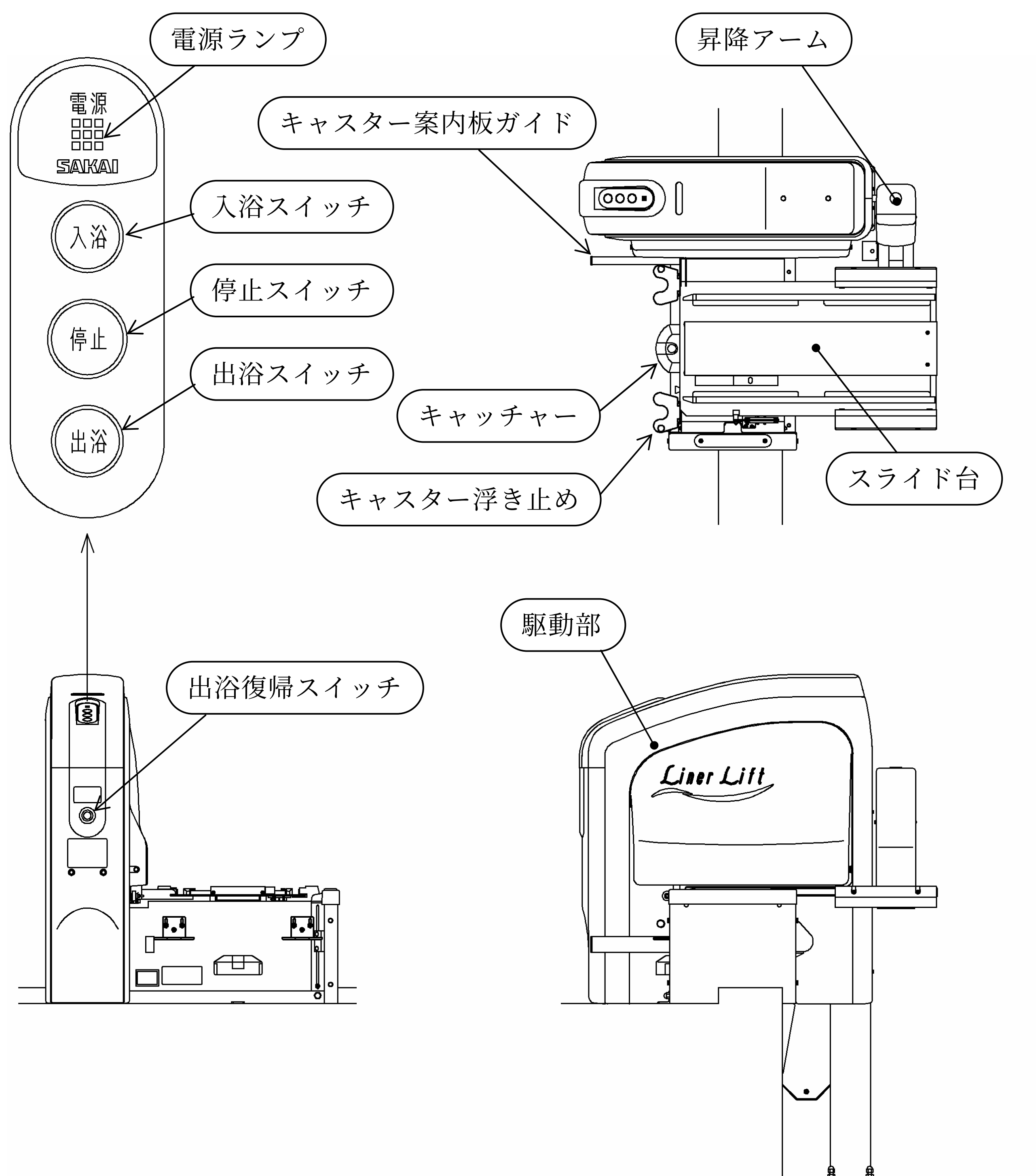
名称	型式
● リフト本体　右サイド用	：LL-310R
または	
リフト本体　左サイド用	：LL-310L
● オプション	
フロントバー	：LL-312
リモコンスイッチ	：LL-313

３．各部の名称

● ライナーリフト本体（右サイド用）：LL-310R



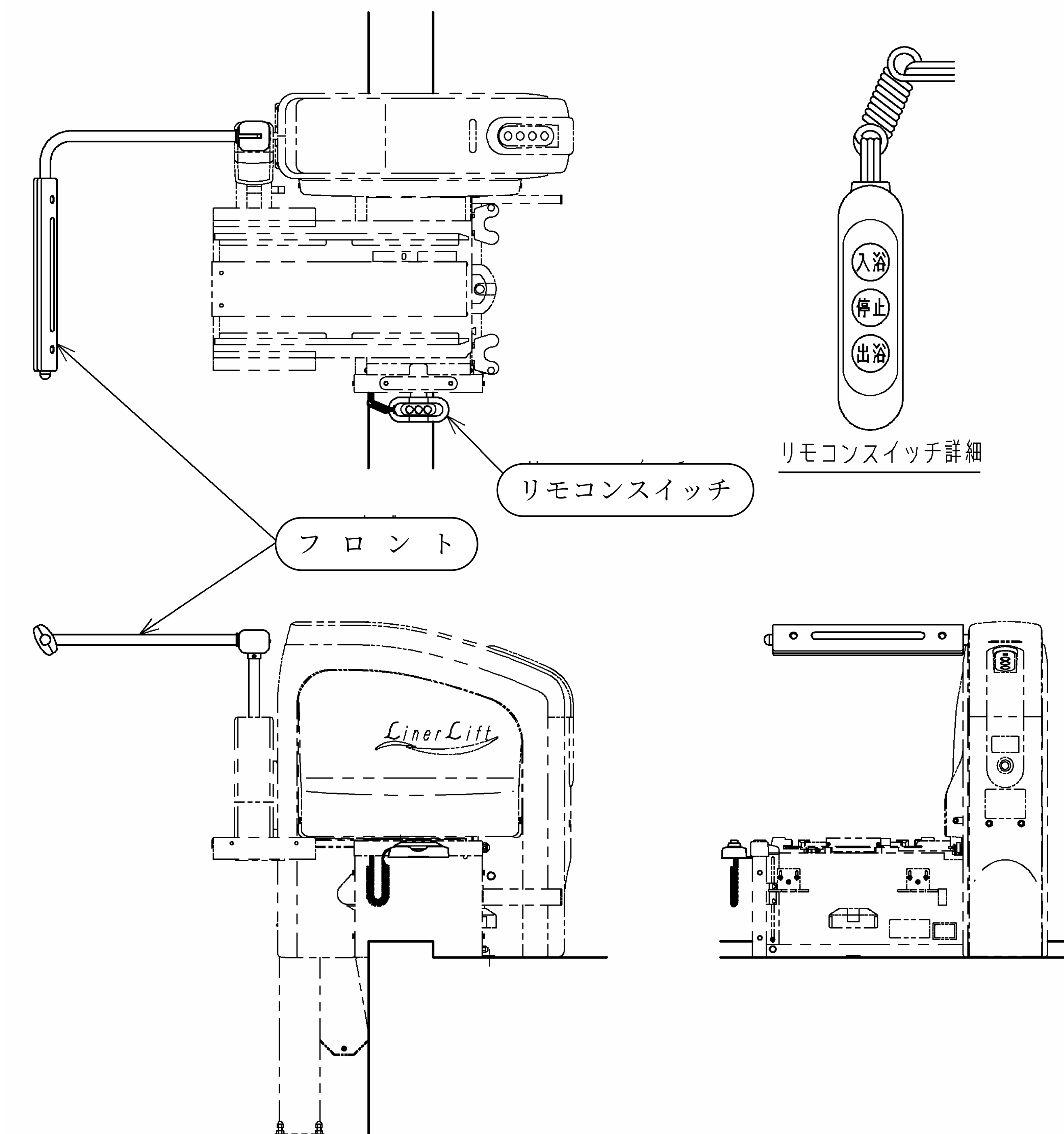
● ライナーリフト本体（左サイド用）：LL-310L



● オプション

フロントバー　　　：LL-312

リモコンスイッチ　：LL-313



４．ご使用になる前に

ご使用前に本製品についてP.17の**始業点検項目**にもとづき、始業点検を実施してください。またこれ以外でも部品が破損しているなど、日頃お使いになられていたときとは違う異常を感じましたら、本製品を使用せずに、電源を切って最寄りの営業所にご連絡ください。

破損、異常を感じたままのご使用は、危険ですから絶対におやめください。

４－１ 電源について

 **警告**	**サービスマン以外は、電源の接続を行わない** 正しく接続しないと、故障や事故の原因となります。

 **注意**	**電源電圧はAC100V±5%の範囲内で使用する** 範囲外の場合には機器の故障及び誤動作の原因となります。

４－２ 本製品による入浴のできない方

椅子に座った状態を独力で維持できない方や、椅子の上で前方や左右に極端に寄りかかったり、片寄って座った状態となる方は、本製品による入浴はできません。

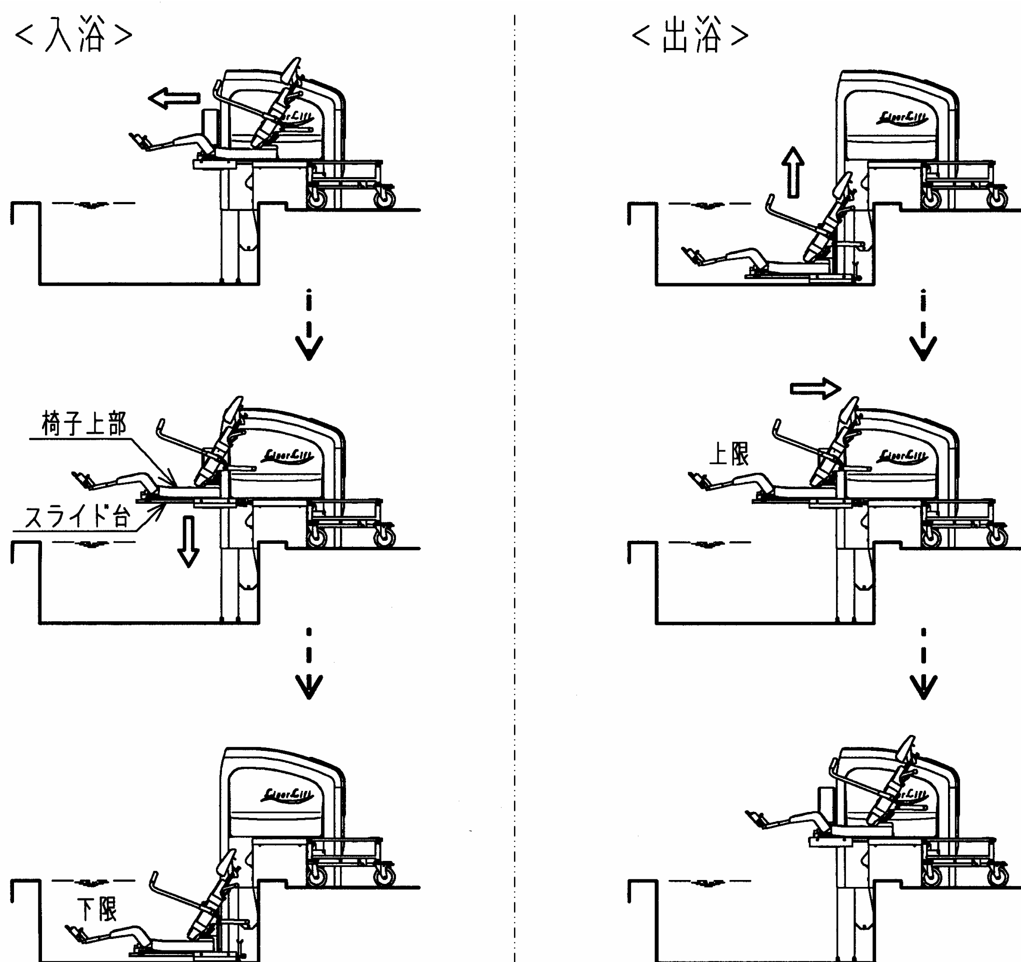
5．操作方法

5－1 リフトの操作方法

(1) 入浴スイッチを押すと、スライド台※が浴槽方向へ移動します。その後、下降を始め下限で自動的に止まります。途中で止める場合は、停止スイッチを押してください。

※スライド台 ・・・入浴者の乗った椅子上部を浴槽へ運ぶ台

(2) 出浴スイッチを押すと、スライド台は上昇します。上限に到達すると洗い場方向へ移動を始め、定位置で自動的に止まります。途中で止める場合は、停止スイッチを押してください。



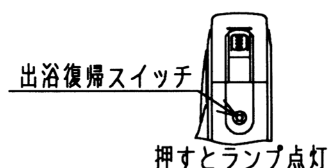
参考 電源投入時に、スライド台が上限の洗い場側定位置にない場合は、出浴スイッチしか受け付けません。

 注意	**リフトを動かすときは、周囲を確認し、入浴者の手足に注意** 浴槽内のリフト動作範囲内に別の入浴者や障害物がないことを必ず確認してください。また、手，肘，足先，膝が椅子の幅よりはみ出ていると、駆動部に当たるなど、けがをする恐れがあります。

５－２　出浴復帰スイッチの操作

　出浴復帰スイッチは、出浴スイッチを押しても洗い場側へ戻らないなど、通常の出浴作動ができない時で、緊急に出浴させたい時に使用します。

(1) 出浴復帰スイッチを押します。(ランプ点灯)
手動に切り替わります。



(2) 出浴スイッチを押します。出浴スイッチを押している間だけ出浴動作をします。

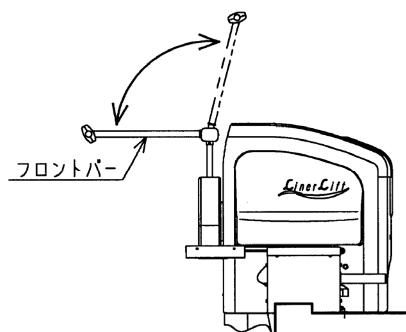
(3) 横スライド時、入浴スイッチを押すと、入浴スイッチを押している間だけ、浴槽方向へ移動できます。(下降はしません)

 注意	**上記の操作を行った後は、本製品の使用を中止する** 最寄りの営業所にご連絡ください。

５－３　オプション・・・フロントバーについて

(1) フロントバーは、浴槽の上面に押し出された時、視界からリフト本体が見えなくなると怖がってしまうという、入浴者の方のために設定してあります。昇降アームに取り付け、入浴者の前方で常に見える所に位置し不安感の軽減に寄与します。

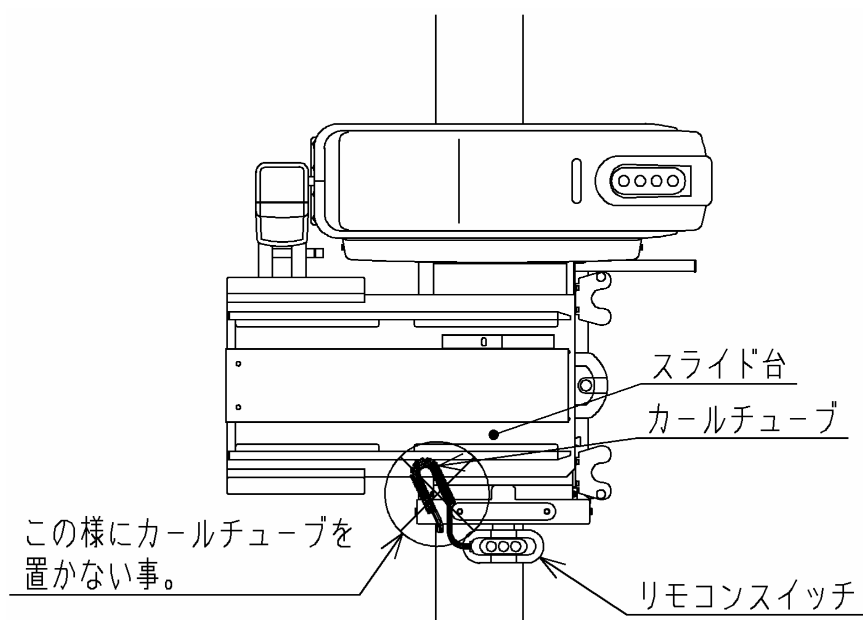
(2) 浴槽の清掃時やリフトを使用しない時は、他の入浴者に邪魔にならないように、上方へ折れ曲がる構造になっています。



5－4　オプション・・・リモコンスイッチについて

リモコンスイッチは、介助する方が常に入浴者のそばでコミュニケーションを図るのに有用です。圧縮空気を利用するタイプですので、浴槽内へ落としてしまった場合でも感電しません。

⚠ 注意	**リモコンスイッチに水をかけない** かかってしまった時は、すぐに乾いたタオル等で拭いてください。
	リモコンスイッチのボタンは、必ず親指の腹で押す 鋭く固いものなどで押すと、ゴム製のボタンが破れて作動しなくなります。
	リモコンスイッチは、リフトの近くで操作する 遠いとカールチューブが引っ張られて破損する恐れがあります。
	入浴者にリモコンスイッチの操作をさせない カールチューブが車椅子やスライド台に引っかかり、破損する恐れがあります。
	カールチューブの位置に注意 スライド台が動いたときに引っかかると、破損する恐れがあります。



5－5　入浴用車椅子の操作

入浴用車椅子の取扱説明書をご覧ください。

６．入浴・出浴手順

入出浴の操作は「５.操作方法」及び入浴用車椅子の取扱説明書を参照し、注意事項に注意しながら行ってください。

入浴

(1) 車椅子のキャスターのロックを確認し、手すりをはね上げ入浴者を座らせます。

(2) 手すりを降ろし、安全ベルトを締め、枕を調整します。

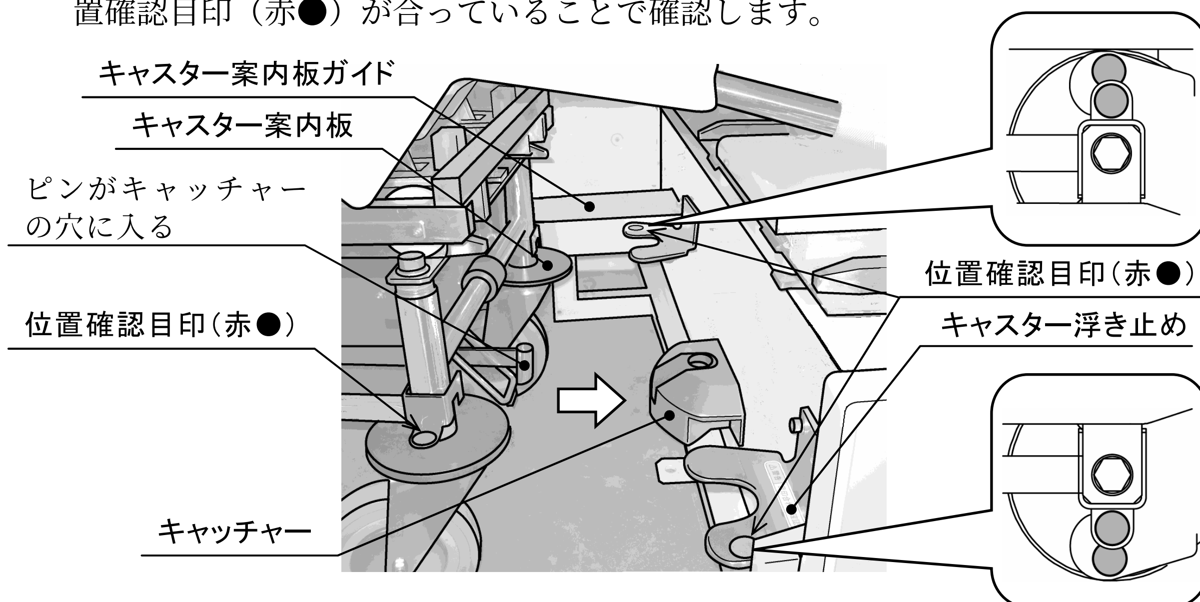
 **警告**	**車椅子に乗せたら、必ず手すりを握らせ、２本の安全ベルトを使用する** • 握っていないと上肢が車椅子の外側に出てけがをする恐れがあります。握れない入浴者の場合には、上肢を保持するベルトなどを用いて、上肢が車椅子の外側に出ないようにしてください。 • ベルトをしなかったり、固定が適切でないと、身体がずれて落下したり、ベルトで擦れてけがをする恐れがあります。
	安全ベルトを外したときには、入浴者のそばから絶対に離れない 洗身などのためにやむを得ず外した場合、落下する恐れがありますので、洗身後は直ぐに安全ベルトを再装着してください。

 **注意**	**安全ベルトの損傷に注意** ほころび始めたり、切れかかってきたら、新しいベルトと交換してください。安全ベルトの身体固定力が低下すると、思わぬ事故の原因となります。

(3) フットレストを持ち上げ、椅子上部をリクライニングさせます。

 **注意**	**椅子上部をスライド台または椅子下部へ移動させる以外は、移動ストッパー解除レバーに絶対に触れない** また、レバーに介助者の衣服やタオルなどが、からまないように注意してください。 椅子上部が分離して脱落する恐れがあります。

(4) リフトのスライド台が洗い場側の上限にあることを確認し、キャスター案内板を、キャスター案内板ガイドに当てながら前方へ押すと浮き止めの下にキャスター案内板が入ります。正しく連結されているかキャスター部と浮き止めの位置確認目印（赤●）が合っていることで確認します。

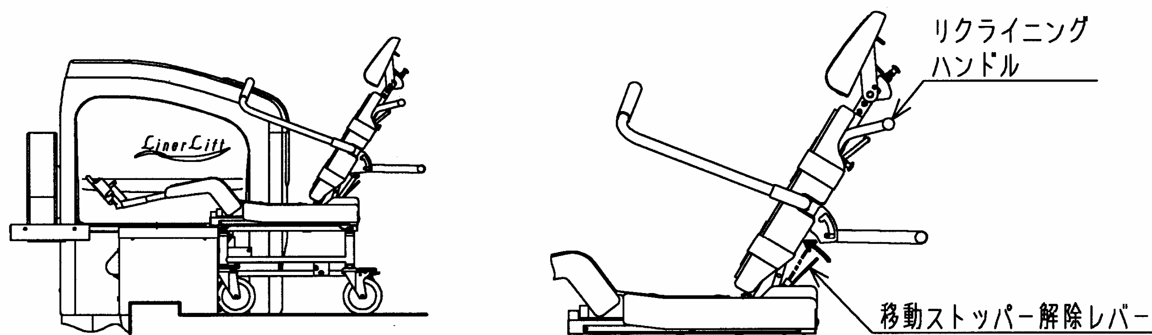


⚠ **注意**	**車椅子をリフトにセットするときは、入浴者の足先に注意** 入浴者の足先がリフトに当たり、けがをする恐れがあります。

(5) 車椅子を押し引きして車椅子がリフトにロックしたことを確認した後、必ずキャスターをロックします。

⚠ **警告**	**車椅子がリフトのキャッチャーに連結されたことを確認してから、キャスターをロック** 連結が不十分だと、椅子上部の脱落などの原因になります。位置確認目印も見て確認してください。

(6) 片手でリクライニングハンドルを握ります。
もう片方の手で移動ストッパー解除レバーを次図のように押しながら、ハンドルを前方へ押し出したら、すぐにレバーから手を離します。
更に両手でハンドルを押し出して、椅子上部をスライド台にロックします。



⚠ **警告**	**椅子上部の移動するときは、レールの位置が上下、左右とも同一線上にあることを確認** 椅子上部が脱落するなど思わぬ事故が発生する他、機器の破損の原因になります。
	椅子上部を少し移動させたら、必ず移動ストッパー解除レバーから指を離す レバーを持ち上げたまま移動させると、椅子上部がロックされず、椅子上部ごと落下する恐れがあります。
	移動後は、椅子上部とスライド台のロックを必ず確認 入浴者が落下する恐れがありますので、リクライニングハンドルを押し引きして確認してください。

⚠ **注意**	**椅子上部を移動するときは、周囲に注意** 前方に別の入浴者や障害物がないことを確認してください。 また、手，肘，足先，膝が椅子の幅よりはみ出ていると、駆動部に当たるなど、けがをする恐れがあります。
	椅子上部の移動は、ゆっくりと 入浴者に不安感を与えないようにゆっくり行ってください。

(7) 椅子上部がスライド台上にロックしたことを確認した後、入浴スイッチを押します。下限で停止しますが、途中停止させる場合は、停止スイッチを押してください。

⚠ **警告**	**入浴スイッチを押す前に、必ず手で湯温を確認** 熱いとやけどをする恐れがあります。
	入浴中の入浴者の状態に注意 水没等がないように、常に観察してください。
	入浴・出浴動作中、入浴者の手足に注意 思わぬ所で挟まれる恐れがあります。 危険を感じたらすぐに停止スイッチを押してください。
	残った椅子下部を入浴中に移動しない 移動したことを忘れて出浴操作をすると、入浴者が落下する恐れがあります。

⚠ **注意**	**入浴者に異変があったら、すぐに入浴を中止する** 入浴作業をやめて、適切な処置をしてください。

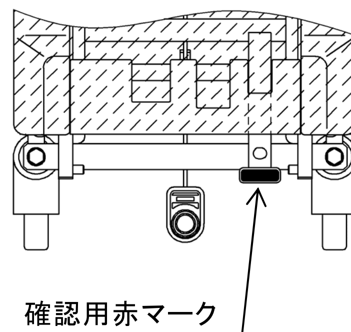
出浴

(1) 入浴が終了したら、出浴スイッチを押します。スライド台が上昇を始め、上限位置で洗い場側に水平移動し、停止します。

 **警告**	**スライド台が停止するまで、絶対に椅子上部を引かない** 動作途中で椅子を引くと、スライド台に入浴者の足を挟む恐れがあります。

(2)椅子下部（走行台車）がリフトにロックされていること、キャスターがロックされていることを確認します。

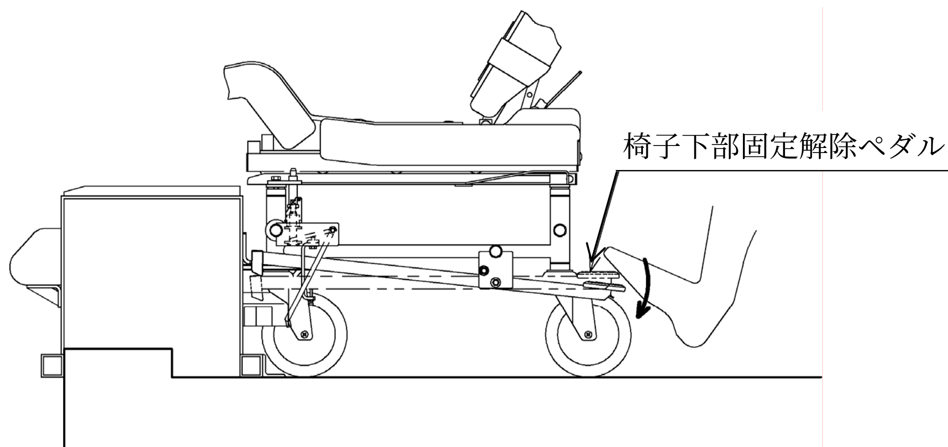
(3)片手でリクライニングハンドルを握ります。
もう片方の手で移動ストッパー解除レバーを押しながら、ハンドルを後方へ引き出したら、すぐにレバーから手を離します。
更に両手でハンドルを引き、椅子下部の赤いマークが完全に見えなくなるまで引き出して、椅子上部と下部を合体します。



参考 椅子上部を引き出す途中で、椅子下部に付いているストッパーピンに椅子上部のフレームがぶつかり、止ってしまう場合があります。椅子下部のリフトへのセットが不完全な時に起こります。
この場合、椅子上部をリフトのスライド台へ一度戻し、椅子下部をリフトへセットし直してください。

 **警告**	**椅子上部と下部を合体する前には、椅子下部固定解除ペダルを絶対に踏まない** 椅子上部と下部がロックされず、入浴者が落下する恐れがあります。
	椅子上部が引き出す途中で止まったら、椅子下部のセットを確認 無理に引き出そうとすると椅子下部がリフトから外れ、入浴者が落下する恐れがあります。
	連結は赤いマークで確認すること 赤いマークが見える場合は、椅子上部をスライド台へ一旦戻して、椅子下部をリフトに確実にセットし直してください。
	椅子上部と下部を合体した後は、必ずロックを確認 入浴者が落下する恐れがありますので、椅子上部を前後に押し引きして確認してください。

(4) 椅子上部が下部にロックしたことを確認した後、キャスターのロックを解除します。椅子下部固定解除ペダルを踏んでリフトから車椅子を離します。



 **警告**	**固定解除後は、速やかに固定解除ペダルから、足を離す** 踏み続けたり、体重を乗せたりすると車椅子が傾いたり、転倒する恐れがあります。

(5) リフトから十分離れた平らな位置でキャスターをロックし、入浴者の足先に注意してリクライニングを解除します。

(6) フットレストを降ろします。

(7) 安全ベルトをはずし、手すりをはね上げ、入浴者を椅子から移動させます。

７．その他の使用上の注意

⚠ 注意	**本機が一般浴槽に設置してある場合、他の入浴者に注意** 浴槽内のスライド台下に他の入浴者が入り込むと危険です。
	操作スイッチにシャワー等で水をかけない 電気系統の故障の原因となります。
	使用後は換気を行い、室内の湿度を下げる 湿気による錆やかびなどの発生を抑えます。
	使用後は、必ず元スイッチを切る 事故を防止します。
	使用後は、スライド台の位置は洗い場側の状態にする 次回の入浴時に、それ以外の位置にある状態で椅子上部をセットすると、入浴者が落下する恐れがあります。
	この製品は、一部に天然ゴムを使用しています かゆみ、発赤、蕁麻疹、むくみ、発熱、呼吸困難、喘息様症状、血圧低下、ショックなどのアレルギー性症状をまれに起こすことがあります。このような症状を起こした場合には、直ちに使用を中止し、医師に相談し、適切な措置を施してください。
	納入時のビニールカバーは破棄する 製品にかけて使用すると錆など発生しやすくなりますので、絶対に使用しないでください。
	湯又は、浴槽の消毒に塩素を使用する場合は、濃度に注意 濃度が濃いと製品の故障の原因となります。

８．お手入れの仕方

- 本機のカバー類は、プラスチック製です。たわし等で擦りますと傷がつきますので、雑巾等の柔らかい物でふいてください。
- 使用後、本機に付いた水滴をそのままにしておくと水垢が残り汚くなりますので、乾いた布できれいに拭き取ってください。

９．このようなときには

症　　状	原　　因	対　　策
電源が入らない。	電源が入っていない。 ブレーカが落ちている。	電源を入れてください。 ブレーカーを上げてください。
入浴・出浴スイッチを押しても動かない。	電源が入っていない。	電源を入れてください。
	スライド台が上限の洗い場側定位置にない。（入浴スイッチの時）	出浴スイッチを押してください。 （定位置復帰を行います。）
	油圧系統のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。
	電気系統のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。
入浴・出浴作動中に途中停止してしまった。	油圧系統のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。
	電気系統のトラブル。	最寄りの営業所にご連絡ください。
昇降時に異音がする。	グリス切れ。	最寄りの営業所にご連絡ください。

- その他、ご不明な点がございましたら最寄りの営業所にご相談ください。
- ご使用中、万一故障が発生したら、直ちに使用を中止してください。

10．機器の保守・点検について

本製品については、機器の管理者の方が以下の点検項目にもとづき、必ず始業点検を実施してください。

また長期間使用しなかった製品を使用再開する場合は、機器が正常に動作するか十分な点検を行ってください。

点検時に異常が発見された場合は製品の使用を中止して最寄りの弊社営業所までご連絡ください。（なお清掃等の簡単な保守は機器の管理者等によって実施するようお願いいたします）

始業点検項目

区分	点検内容	点検方法
外観	周囲の障害物の有無	目視
	カバーのガタつき、取付ネジの緩み、脱落	目視 及び、触って確認
	オイル等の漏れ	目視
(電源投入後) 機能	電源ランプの点灯	目視
	車椅子のロック	車椅子をリフトにセットして力を加えロックが外れないか確認
	車椅子の昇降	車椅子をリフトにセットして、スムーズに昇降・停止するか確認

（入浴用車椅子の始業点検については、入浴用車椅子の取扱説明書をご覧ください）

11．保証とアフターサービス

11－１ 保証書と保証期間

保証書はよく読んで大切に保管してください。保証書がありませんと保証期間中でも代金を請求させていただく場合があります。

保証期間につきましては、正常な状態でご使用いただきながら故障した場合、本体フレームは５年間、それ以外は１年間です。詳しくは保証書をご覧ください。

11－２ 修理を依頼される場合

- 修理を依頼される時は、下記のことをお知らせください。

  機種名　：　*LL-310*

  お買い上げ年月：　　年　　月

  故障状況(できるだけ詳細に)

  住所，氏名，電話番号

- メーカーより指示のある時以外は、決して開けたり分解しないでください。

11－３ 定期保守点検契約のお勧め

製品を長期間正常な状態で安全に使用できるように保証期間後の「保守点検契約」の締結をお勧めします。詳しくは「保守点検契約のお勧め」をご覧になるか、弊社最寄りの営業所へお問い合わせください。

11－４ 損耗品

（使用により、磨耗･劣化･変質等が生じ、本来の機能が発揮できなくなるもの）

- 正常な使用において、交換の目安が**約２年**のもの。

  作動油

- 正常な使用において、交換の目安が**約３年**のもの。

  油圧ホース・チューブ

12．仕 様

リフト本体：LL-310R(L)

外形寸法		1115(L)×915(W)×1575(H)mm ※浴槽底面 FL-550 の時
質　量		約 250 kg
昇降ストローク		840 mm ※浴槽底面 FL-550 の時
電　源		AC100V
消費電力		600VA
材質	支　柱	ステンレス
	フレーム	ステンレス
	カバー	ステンレス，プラスチック
昇降方式		電動油圧式チェーン駆動
スライド方式		電動油圧式リンク機構

オプション　＜フロントバー：LL-312＞

材　質	ステンレス,プラスチック
その他	跳ね上げ機能有

オプション　＜リモコンスイッチ：LL-313＞

外形寸法	155(L)×40(W)×45(H)mm
材　質	プラスチック，合成ゴム
その他	・エア方式　　　・ホルダー付